

本年度の結果

	国語
阿蘇市	66
全国	69.0

領域別	言葉の特徴や使い 方に関する事項	情報の使い方に 関する事項	我が国の言語文化 に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
阿蘇市	66.9	50.0	68.5	63.0	50.0	63.1
全国	72.2	46.5	70.2	63.9	46.5	67.9
観点別	知識・技能	思考・判断・表現				
阿蘇市	65.7	60.8				
全国	69.0	62.3				

本年度の主な結果について

- 領域別にみると、「情報の使いに関する事項」及び「書くこと」については、全国を上回っている。
- 「言葉の特徴や使いに関する事項」に課題があり、特に比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことに課題がある。
- 「話すこと・聞くこと」については、論理の展開などに注意して聞いたり自分の考えを分かりやすく表現したりすることに課題がある。
- 「読むこと」については、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて描写を基に捉えることに課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使う。(2一)
- 事象や行為、心情を表す語句について理解する。(3二)

【課題】

言葉の特徴や使いに関する事項

- 文章の中で用いられている表現の技法について理解する。(3一)

情報の扱いに関する事項

- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く。(2三)

我が国の言語文化に関する事項

- 行書の特徴を理解する。(4一)

話すこと・聞くこと

- 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す。(1三)

書くこと

- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く。(2三)

読むこと

- 場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える。(3三)

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 「国語の勉強が好き」と解答した生徒は、全国を上回っており、改善が見られる。
- 「国語の授業は大切だと思う」生徒は、全国とほぼ同じである。

【課題】

- 授業の内容が分かる生徒は、全国よりも低い。
- 自分の考えをうまく伝えるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している生徒は、全国よりも低い。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- 単元デザインや授業デザインを基に、育成を目指す資質・能力をどこで、どのようにして付けていくかを明記して授業を行い、振り返るとともに、指導と評価の一体を図る。
- 「話すこと・聞くこと」の指導に当たっては、「話すこと」「聞くこと」「話し合うこと」の指導事項を相互に関連づけて指導し、目的や場面に応じて話し合い、自分の考えをまとめる力を身に付ける。
- 「読むこと」の指導に当たっては、叙述に基づいて内容を理解して読む指導の充実を図り、自分の考えを形成するには言葉を手がかりに書かれている内容を理解できるようにする。

【日常的な取組】

- 自分の考えが分かりやすく伝わるように根拠を明確にして書く指導の充実を図り、読書や新聞を読む習慣を養う。速音読にも積極的に取り組む。

【家庭学習等】

- 授業内容に応じた課題を出し、予習・復習の内容の充実を図る。